

製品名: レジスチンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17030**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	RETN
別名	Resistin (Adipose tissue-specific secretory factor;ADSF;C/EBP-epsilon-regulated myeloid-specific secreted cysteine-rich protein;Cysteine-rich secreted protein A12-alpha-like 2;Cysteine-rich secreted protein FIZZ3)
遺伝子 ID	56729.0
SwissProt ID	Q9HD89
免疫原	ヒトレジスチン由来の合成ペプチド AA 範囲: 1-50

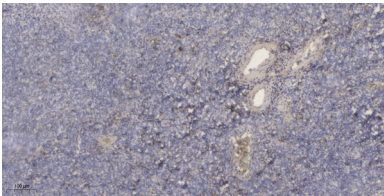
背景

この遺伝子は、マウスレジスチン様遺伝子群によって定義されるファミリーに属する。このファミリーの特徴は、同一間隔の 10 個のシステイン残基からなる C 末端配列である。このタンパク質のマウスホモログは脂肪細胞から分泌され、肥満と 2 型糖尿病を関連付ける可能性のあるホルモンである可能性がある。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2010 年 7 月]、機能：脂肪細胞へのグルコース取り込みを促進するインスリンの能力を抑制すると考えられるホルモン。肥満と糖尿病を関連付ける可能性がある。、類似性：レジスチン/FIZZ ファミリーに属する。、サブユニット：ホモ二量体；ジスルフィド結合。、組織特異性：脂肪組織でのみ発現する。、

研究分野

シグナル伝達; 代謝; エネルギー代謝; 心血管; アテローム性動脈硬化; 糖尿病関連; 経路とプロセス; 代謝シグナル伝達経路; エネルギー伝達経路; 糖尿病; 心臓病; 代謝障害

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した（4°Cで一晩）。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した（室温、30 分）。